



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 東
 コード番号 3758 URL <https://www.aeria.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小林 祐介
 問合せ先責任者（役職名） 管理本部長（氏名） 上野 哲郎（TEL）03（3587）9574
 半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	9,543	△19.7	△370	—	△242	—	△286	—
2023年12月期中間期	11,880	24.0	437	26.6	713	157.0	509	590.4

（注）包括利益 2024年12月期中間期 △279百万円（—%） 2023年12月期中間期 510百万円（820.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△12.83	—
2023年12月期中間期	22.98	—

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

2024年12月期中間期 △227百万円（—%） 2023年12月期中間期 583百万円（11.3%）

のれん償却前中間純利益（親会社株主に帰属する中間純利益＋のれん償却額）

2024年12月期中間期 △221百万円（—%） 2023年12月期中間期 574百万円（187.0%）

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	19,847	9,319	46.0
2023年12月期	21,145	9,682	44.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 9,132百万円 2023年12月期 9,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	1.4	800	67.9	700	△7.0	500	4.1	22.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	23,649,428株	2023年12月期	23,649,428株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	1,281,574株	2023年12月期	1,376,274株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	22,294,869株	2023年12月期中間期	22,186,228株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年1月1日~2024年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループが展開しているインターネット関連事業においては、スマートフォン・タブレット端末の普及に伴い、インターネット利用者数の増加やEC(電子商取引)市場の拡大等を背景として、引き続き成長を続けております。さらに、コンテンツサービスの多様化が市場規模を拡大しており、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツ市場においても継続的な成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。また、アセットマネジメント事業においては、投資用不動産の価格水準が高く推移し利回りも低くなっており、適正な投資案件が不足している状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コア事業と位置付けるITサービス事業について安定した収益基盤を強化し、コンテンツ事業においても、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業及び配信・運営事業を強化するとともに、子会社各社の強みを生かし、これまでのマス・マーケットからターゲット層を絞ったニッチ・マーケットでの基盤を作り、深耕を進めてまいりました。また、アセットマネジメント事業においては、規模が小さく、事業期間の短い収益不動産を中心として展開することにより、事業リスクをコントロールし、金融機関の融資姿勢等に鑑み慎重に事業を運営してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高9,543百万円(前年同期比19.7%減少)、営業損失370百万円(前年同期は営業利益437百万円)、経常損失242百万円(前年同期は経常利益713百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失286百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益509百万円)となりました。

また、EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)は△227百万円(前年同期は583百万円)、のれん償却前中間純損失(親会社株主に帰属する中間純利益+のれん償却額)は△221百万円(前年同期は574百万円)となりました。

なお、当社グループでは、M&Aを活用した事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していくなかで、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なEBITDAを経営指標として採用しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ITサービス事業

ITサービス事業につきましては、データサービス事業を行う株式会社エアネットが安定した収益を獲得しておりますが、オンライン電子出版に特化したアフィリエイトプラットフォーム事業を行う株式会社ファーストペンギンの決済代行収益並びにアフィリエイト広告収益の減少に伴い売上高の減少及び営業損失を計上しております。

以上の結果、売上高は881百万円(前年同期比22.7%減少)、営業損失は48百万円(前年同期は営業利益64百万円)となりました。

② コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲームの開発、配信及び運営並びにキャラクターグッズの販売等を行っております。イベント関連の売上が増加したものの既存コンテンツの売上が減少し、新規コンテンツに係る開発費の増加したことにより売上高の減少及び営業損失を計上しております。

以上の結果、売上高は4,701百万円(前年同期比9.5%減少)、営業損失は506百万円(前年同期は営業利益74百万円)となりました。

③ アセットマネジメント事業

アセットマネジメント事業につきましては、不動産の賃貸及び売買並びに国内外の企業等への投資等を行っております。販売用投資不動産の竣工の遅れにより売上高及び営業利益が減少しております。

以上の結果、売上高は3,998百万円(前年同期比28.3%減少)、営業利益は183百万円(前年同期比38.3%減少)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当社グループの当中間連結会計期間の末日における財政状態は、下記のとおりであります。

①資産の部

(流動資産)

流動資産につきましては15,061百万円(前連結会計年度末は18,997百万円)と3,936百万円の減少となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産が1,886百万円(前連結会計年度末は2,342百万円)と455百万円減少、商品が2,116百万円(前連結会計年度末は5,264百万円)と3,148百万円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては4,786百万円(前連結会計年度末は2,147百万円)と2,638百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産が2,935百万円(前連結会計年度末は287百万円)と2,648百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は19,847百万円(前連結会計年度末は21,145百万円)と1,297百万円の減少となりました。

②負債の部

(流動負債)

流動負債につきましては6,381百万円(前連結会計年度末は7,545百万円)と1,163百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が1,214百万円(前連結会計年度末は1,795百万円)と581百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が1,432百万円(前連結会計年度末は1,773百万円)と341百万円減少、預り金が1,374百万円(前連結会計年度末は1,566百万円)と191百万円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては4,146百万円(前連結会計年度末は3,918百万円)と228百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が3,470百万円(前連結会計年度末は3,255百万円)と215百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は10,528百万円(前連結会計年度末は11,463百万円)と935百万円の減少となりました。

③純資産の部

純資産合計につきましては9,319百万円(前連結会計年度末は9,682百万円)と362百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純損失による利益剰余金の減少286百万円、剰余金の配当による資本剰余金の減少111百万円等によるものであります。

当社グループの当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、8,363百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は1,293百万円(前年同期は96百万円の減少)となりました。これは主として、税金等調整前中間純損失230百万円(前年同期は税金等調整前中間純利益684百万円)、減価償却費77百万円(前年同期は80百万円)、のれん償却額65百万円(前年同期は65百万円)、売上債権及び契約資産の減少額455百万円(前年同期は234百万円の減少)、預り金の減少額191百万円(前年同期は710百万円の減少)を計上したこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は582百万円(前年同期は208百万円の増加)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出500百万円等があったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は797百万円(前年同期は85百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入れによる収入871百万円(前年同期は750百万円)、短期借入金の返済による支出1,452百万円(前年同期は555百万円)、長期借入れによる収入639百万円(前年同期は548百万円)、長期借入金の返済による支出765百万円(前年同期は912百万円)等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,764	9,178
売掛金及び契約資産	2,342	1,886
商品	5,264	2,116
仕掛品	1	25
前払費用	552	553
預け金	81	62
未収還付法人税等	361	2
その他	1,649	1,256
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	18,997	15,061
固定資産		
有形固定資産	287	2,935
無形固定資産		
のれん	162	97
ソフトウェア	172	158
その他	23	14
無形固定資産合計	358	270
投資その他の資産		
投資有価証券	866	988
関係会社株式	1	1
長期貸付金	7	7
長期滞留債権	527	526
差入保証金	289	311
繰延税金資産	98	98
その他	202	137
貸倒引当金	△491	△489
投資その他の資産合計	1,502	1,581
固定資産合計	2,147	4,786
資産合計	21,145	19,847

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	724	683
短期借入金	1,795	1,214
1年内償還予定の社債	40	60
1年内返済予定の長期借入金	1,773	1,432
未払金	341	340
未払費用	116	138
未払法人税等	126	56
賞与引当金	79	141
役員賞与引当金	24	20
預り金	1,566	1,374
その他	958	920
流動負債合計	7,545	6,381
固定負債		
社債	150	160
長期借入金	3,255	3,470
繰延税金負債	198	216
役員賞与引当金	20	-
役員退職慰労引当金	20	16
退職給付に係る負債	34	33
資産除去債務	87	87
その他	152	163
固定負債合計	3,918	4,146
負債合計	11,463	10,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	9,580	9,418
利益剰余金	762	475
自己株式	△1,102	△1,018
株主資本合計	9,340	8,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	214
為替換算調整勘定	△8	△57
その他の包括利益累計額合計	157	156
新株予約権	28	28
非支配株主持分	155	157
純資産合計	9,682	9,319
負債純資産合計	21,145	19,847

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

中間連結会計期間

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,880	9,543
売上原価	8,123	6,729
売上総利益	3,757	2,814
販売費及び一般管理費	3,319	3,185
営業利益又は営業損失(△)	437	△370
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	15
為替差益	66	67
受取給付金	26	1
投資事業組合運用益	194	-
共同製作事業収益金	42	91
受取損害賠償金	-	23
その他	7	10
営業外収益合計	351	211
営業外費用		
支払利息	50	61
社債発行費	7	2
支払手数料	7	12
その他	10	6
営業外費用合計	76	83
経常利益又は経常損失(△)	713	△242
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	4	4
債務免除益	-	18
受取保険金	16	-
事業譲渡益	9	-
特別利益合計	29	22
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	-	5
暗号資産評価損	58	-
特別退職金	-	4
特別損失合計	59	10
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	684	△230
法人税、住民税及び事業税	165	50
法人税等調整額	4	△2
法人税等合計	169	47
中間純利益又は中間純損失(△)	514	△278
非支配株主に帰属する中間純利益	4	7
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	509	△286

中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	514	△278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	48
為替換算調整勘定	△52	△48
その他の包括利益合計	△4	△0
中間包括利益	510	△279
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	505	△286
非支配株主に係る中間包括利益	4	7

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	684	△230
減価償却費	80	77
のれん償却額	65	65
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	61
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
受取利息及び受取配当金	△13	△16
支払利息	50	61
為替差損益 (△は益)	△58	△47
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	5
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	234	455
棚卸資産の増減額 (△は増加)	318	470
仕入債務の増減額 (△は減少)	22	△24
預り金の増減額 (△は減少)	△710	△191
その他	△586	452
小計	73	1,110
利息及び配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△55	△64
法人税等の還付額	269	402
法人税等の支払額	△395	△168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△96	1,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△500
有形固定資産の取得による支出	△23	△34
無形固定資産の取得による支出	△51	△15
投資有価証券の取得による支出	△80	△60
投資有価証券の償還による収入	337	-
差入保証金の差入による支出	△16	△22
差入保証金の回収による収入	45	-
その他	△3	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	208	△582

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	750	871
短期借入金の返済による支出	△555	△1,452
長期借入れによる収入	548	639
長期借入金の返済による支出	△912	△765
社債の発行による収入	200	50
社債の償還による支出	-	△20
自己株式の取得による支出	-	△4
配当金の支払額	△110	△110
非支配株主への配当金の支払額	△4	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85	△797
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39	△86
現金及び現金同等物の期首残高	9,151	8,449
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,191	8,363

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年4月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2024年5月24日を期日とする自己株式の処分(109,500株)を行い、当中間連結会計期間において自己株式が87百万円減少しております。また、2024年6月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得(14,800株)を行い、当中間連結会計期間において自己株式が4百万円増加しております。これらの結果、当中間連結会計期間末における自己株式は1,018百万円となっております。

(追加情報)

(販売用不動産から固定資産への振替)

保有目的の変更により販売用不動産のうち2,653百万円を有形固定資産に振替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	ITサービス	コンテンツ	アセットマネ ージメント	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,131	5,173	5,576	11,880	—	11,880
外部顧客に対する売上高	1,131	5,173	5,576	11,880	—	11,880
セグメント間の内部売上高又は 振替高	10	20	—	30	△30	—
計	1,141	5,193	5,576	11,910	△30	11,880
セグメント利益	64	74	297	436	1	437

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する事項

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	ITサービス	コンテンツ	アセットマネ ージメント	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	863	4,681	3,998	9,543	—	9,543
外部顧客に対する売上高	863	4,681	3,998	9,543	—	9,543
セグメント間の内部売上高又は 振替高	18	19	—	37	△37	—
計	881	4,701	3,998	9,581	△37	9,543
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△48	△506	183	△371	1	△370

(注) 1. セグメント利益又は損失の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する事項

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。